

半田市環境基本計画に関する 評価・提案

(令和元年度分)

(案)

令和2年〇〇月

はんだ環境パートナーシップ会議

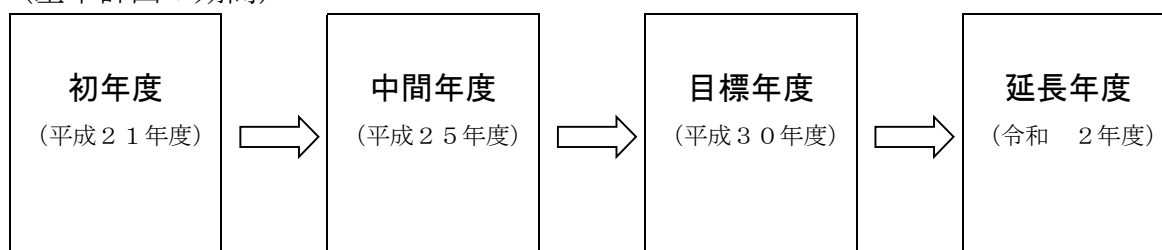
1. はじめに

平成21年3月に、半田市環境保全条例第7条に基づき、本市における生活環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的に、当初計画期間を10年間とした半田市環境基本計画（以下、「基本計画」という。）を策定しました。

中間年度である平成25年度において見直しを行い、平成30年度には次期計画を上位計画である総合計画と整合性を図るため、計画期間を令和2年度まで2年間延長しました。

基本計画に掲げる施策を実施・適正な進行管理のため、市民・事業者・行政・有識者で構成する「はんだ環境パートナーシップ会議」において、令和元年度実施分の評価を取りまとめましたので報告します。

（基本計画の期間）



2. 評価の方法

評価については、まず、担当課において実績報告票で「庁内評価」を行い、その結果を参考としながら、はんだ環境パートナーシップ会議において議論し「市民評価」を行い、総括的な評価としてまとめました。

「庁内評価」については、施策ごとに設定した指標（目標値）と現状値との比較や、令和元年度事業の実施内容・進捗状況を踏まえ、担当課において4段階の成果指標達成度を評価しました。

「市民評価」については、基本計画の5つの柱毎に施策の進捗状況、各指標の推移などを参考に4段階評価を行うとともに、施策の到達点や課題などについてまとめ、今後の施策推進に向けた提案をしました。

■庁内評価（成果指標達成度基準）

達成度 マーク	説 明	
 AA	目標値を達成しているもの	【計画を上回る】
 A	基準値から、目標値まで直線をひいたときに、最新値が直線よりも上方（達成方向）であるもの	【計画どおり】
 B	基準値から、目標値まで直線をひいたときに、最新値が直線よりも下方（未達成方向）であるものの、基準値からは向上、改善しているもの	【計画を下回る】
 C	最新値が、基準値よりも下方しているもの	【未着手】

■市民評価（評価基準）

達成度 マーク	説 明
 AA	良好です
 A	概ね良好です
 B	改善・見直しの必要があります
 C	改善・見直しを行い一層の努力が必要です

5つの柱

1. ひとにやさしく、快適な環境で安心して暮らせるまち
2. 地球環境を守り、持続可能な社会を目指すまち
3. 豊かな自然を守り、自然と共生するまち
4. 美しいふるさとと、歴史や文化を大切にするまち
5. みんなで環境を守り育てるまち

3. 令和元年度分の評価・提案

柱1 ひとにやさしく、快適な環境で安心して暮らせるまち

1-1 公害のない安心・安全な暮らしの確保

- 1-1-1 事業活動等から生じる典型7公害に係る環境基準及び関連規制を満たします。
- 1-1-2 ため池の水質改善を図ります。
- 1-1-3 河川・海域の水質改善を図ります。
- 1-1-4 地場産業である畜産業の発展のため、ふん尿処理に起因する臭気について、対策を図ります。

1-2 快適な市民生活環境の確保

- 1-2-1 交通流円滑化・交通量低減対策を図り、交通渋滞を解消します。
- 1-2-2 住環境の向上を図るため、市街地を整備します。
- 1-2-3 生活に起因する環境問題について、適切な対策を図ります。

庁内評価（成果指標達成度数）				庁内評価 対象事業数
 AA	 A	 B	 C	
1	1 2	4	1	1 8

はんだ環境パートナーシップ会議委員評価				市民評価
 AA	 A	 B	 C	 A
0	1 0	1	0	

《評価できる点》

- 大気汚染に係る環境基準達成率100%は評価できる。
- 矢勝川の底質の有害物質分析を実施したことは、極めて評価できる。
- 臭気測定の根拠をもって基準値を上回った農家への直接訪問指導という積極的姿勢は評価できる。
- 環境保全協定工場等に対し、10事業所への立ち入り調査実施は評価できる。
- JR 武豊線の鉄道高架化事業に関連する工事が開始されており、実現へ進んでいるのは評価できる。
- 交通渋滞の解消に資する青山駅周辺の高架化について、目標より早い平成28年度に事業完了された点を評価する。

○飼犬等の糞害に対する施策として、イエローチョーク、イエローカードの有効性は評価できる。

《期待したい点》

○大気汚染については測定、監視体制の充実を期待したい。

○矢勝川河口（高田橋）付近と阿久比川（島田橋）付近とを、同時に取水しその分析結果を見たい。

○今後市内のバイオマス発電所との連携も必要。

《評価できない点》

○矢勝川のBODはC評価が続いており、根本対策が未着手である。

○ため池のCODが大幅に高い。「内的要因での水質改善は困難」と結論づけては計画推進が困難でこの姿勢が問題。

《問題と思われる点》

○矢勝川の水質悪化の原因を突きとめ、早く対策をとることが必要。

○トラックの走行に伴う振動で道路の傷んでいるところが至る所にある。

○直近の問題として、石炭火力が武豊にできるというなかで、それに関する大気の影響について、半田市としてどう受け止めて、どう対策をとっていくのか。

《提案》

○主なため池については、毎年例えば一つずつ原因調査をして、対策を立てるような戦略を立ててはどうか。

柱２ 地球環境を守り、持続可能な社会を目指すまち

２－１ 温室効果ガス排出量の削減

- ２－１－１ 市内の温室効果ガス排出量を把握し、地球温暖化対策を各分野ごとに効果的に推進します。
- ２－１－２ 産業・業務部門での対策を推進します。
- ２－１－３ 運輸部門での対策を推進します。
- ２－１－４ 家庭部門での対策を推進します。
- ２－１－５ 市（行政）において率先して行動します。

２－２ 資源循環型社会の構築

- ２－２－１ ごみを出さない（発生抑制）ライフスタイルや事業活動を促進します。
- ２－２－２ リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）を推進します。
- ２－２－３ 廃棄物の適正処理を推進します。

２－３ 環境に配慮した事業活動を推進します。

- ２－３－１ 環境マネジメントシステムの導入促進を図ります。
- ２－３－２ 事業者による周辺住民との自主的なリスクコミュニケーションを促進します。
- ２－３－３ 中小企業等の環境に配慮した事業活動を推進します。

庁内評価（成果指標達成度数）				庁内評価 対象事業数
 A A	 A	 B	 C	
3	1 5	1 7	0	3 5

はんだ環境パートナーシップ会議委員評価				市民評価
 A A	 A	 B	 C	
0	6	5	0	 A

《評価できる点》

- 明確な目標として「2050年CO2排出量実質ゼロ」を市長が表明し、市内一体での取り組みの方向性は評価できる。
- 臭気の原因である糞尿をバイオマスエネルギー源として利用を推進している点。
- ごんくるバスの導入は今後の高齢化社会、CO2 排出削減に対して有効である。バス利用者数を増やした点。
- 市政懇談会において家庭ごみ有料化の説明は評価できる。

- 「刈草・剪定枝の資源化」は当然ながら評価できる。もっと、早くから始められれば、よりよかった。

《期待したい点》

- 2050年CO2排出量実質ゼロ実現のための計画策定と、それに基づいた現施策の見直し。具体的なロードマップの公表も期待。
- バイオマスによる畜産糞尿の活用で早く畜産農家の悩み、苦労を解消してもらいたい。
- パークアンドライド以外にも駅前月極駐車場等幅広い利用者のニーズに応えられると良い。
- ごんくるバスの乗車率向上に向けた施策を実施し、長期的に継続する事を期待します。
- 防犯灯のLED化に伴うCO2削減効果（電気使用量からの類推など）について、定量的な評価を示されることを期待する。

《評価できない点》

- 家庭部門CO2年間排出量の評価Cはいかがなものか。
- 地球環境の保全は、半田市の全ての活動をCO2換算値で捉え、市民に対して、生活との関係を分かりやすく説明する必要がある。その上で、各家庭の身近なCO2の削減活動に結びつける必要がある。
- 電力自由化等にもとない統計が出せないことから、電気、都市ガス、1世帯当たり年間排出量については、指標から見直しが必要。
- JR 武豊線の利用促進。路線バスの利用促進。
- エコライフを実現する制度として、エコファミリー制度が有るがその登録数の推移が低調である。
- もったいないバザールを令和2年度で終了予定のこと。
- 一人1日当たりのゴミ排出量がC評価で、増加傾向である。

《問題と思われる点》

- 市民がCO2排出削減を身近に感じ、「自分ごと」として取り組んでいただけるような施策を期待する。
- 武豊線の亀崎駅について歴史は古いが、立地環境が現在の利用者のニーズに合っていない。車や自転車の対応ができていない。
- ごみ減量を市民に具体的に実行してもらえるような施策を期待する。
- 家庭ごみは、水を燃やすような物と言われており、たい肥化、バイオマス燃料など研究課題とすべきと思う。バイオマス発電を推進するのであれば、検討すべき課題。
- もったいないバザールについて、フード・ドライブなど他のイベントの検討とあ

ったが、もったいないバザールは、フードは扱っていない。全く別である。やっ
と市民に開催が周知され、例年の人気ぶりを見ても、なぜ終了するのか疑問に思
う。リユース、リサイクル実現で必要な人に使用してもらうことは良いことだ
と思う。

《提案》

柱3 豊かな自然を守り、自然と共生するまち

3-1 うるおいのある緑・水空間の整備

3-1-1 緑や水と親しみ、身近に感じられる場を保全・創造します。

3-2 生物多様性の保全

3-2-1 生態系ネットワークに配慮した自然環境保全及び整備を推進します。

3-2-2 特定外来生物についての対策を図ります。

3-3 環境面からの農業振興

3-3-1 環境保全機能を持つ農地を保全します。

3-3-2 緑地確保のため農地の活用を図ります。

3-3-3 地産地消を推進します。

庁内評価（成果指標達成度数）				庁内評価 対象事業数
 AA	 A	 B	 C	
6	1 2	4	0	2 2

はんだ環境パートナーシップ会議委員評価				市民評価
 AA	 A	 B	 C	 A
0	1 1	1	0	

《評価できる点》

- 七本木池、雁宿の公園整備事業や、稗田川・平地川の修景整備事業が完了した点を評価する。
- 河川やため池等の親水性を考慮し、散策ができるような広場や公園、歩道等の整備が進んでいること。
- 池や川の生き物調査は重要で、その毎年の実施は十分評価できる。
- 環境学習出前講座など子供たちの環境意識の醸成を図ったことは評価できる。
- 自然観察会を4回実施している。

《期待したい点》

- 今後も草刈り等の管理をしっかり行い、河川やため池等の親水性を考慮した整備をお願いしたい。
- 今年度は新型コロナウイルス感染防止対策として、3密を防ぎながらのイベント

開催等が求められるため、工夫して実施いただけることを期待する。

- 自然とのふれあいを通じた環境保全の大切さを理解できるとても良い催しだと思う。参加者の増加を期待する。

《評価できない点》

- 希少野生動植物調査はしていない。
- 耕作放棄地の面積は前年度より減少したものの、目標の達成には減少幅が大きく不足している点。

《問題と思われる点》

- 希少野生動植物調査はしていない。希少野生動植物について生息域の情報収集等を進め、広く市民に情報提供してほしい。
- 耕作放棄地について、意欲のある耕作希望者に確実につないでいくための具体的な施策を期待する。

《提案》

- 耕作放棄地については、もう農家だけで農地の問題を考えるのは無理なので、地域の財産としてもっと市民を巻き込んで考えてはどうか。
-

柱４ 美しいふるさとと、歴史や文化を大切にふるまち

４－１ 美しく半田らしい景観の整備

４－１－１ 美しいまち並みを保全・創造します。

４－２ 歴史的・文化的環境資源の保全と継承

４－２－１ 地域の歴史的・文化的資源を保全・継承するとともに、環境に配慮した観光資源の整備を推進します。

４－３ ゆとりややすらぎ、活気のある空間の整備

４－３－１ 公園や広場等の市民が憩う場の整備を推進します。

４－３－２ 環境に配慮した中心市街地の整備を推進します。

庁内評価（成果指標達成度数）				庁内評価 対象事業数
 A A	 A	 B	 C	
0	9	0	0	9

はんだ環境パートナーシップ会議委員評価				市民評価
 A A	 A	 B	 C	 A
2	7	2	0	

《評価できる点》

- 運河の再生や赤レンガ建物の整備、またははんだ山車まつりの開催など、歴史や文化を活かしたまちづくりを着実に進めている点の評価する。
- 地域の若者を中心に、地元が中心となり、景観に配慮したまちづくり方針を策定したことは評価できる。
- ごみゼロ運動、ポイ捨て禁止の呼びかけ運動。
- 文化財よもやま話は文化財について知ることができ評価できる。
- 公園の維持管理が計画的に行われている点。

《期待したい点》

- 運河、山車、新美南吉など、市外にも有名な歴史・文化を、それら以外の隠れた歴史・文化資産ともうまく連携させて、市内外にPRされるような施策を期待する。

《評価できない点》

- 景観アドバイザーの助言を受け入れたいが、補助制度が脆弱で費用面から受け入れられない状況がある。
- 半田市の文化財に対する保存整備が不十分な状態。
- 雁宿公園は、市内で一番身近で、規模の大きい公園で、野球、テニス、児童遊園、散策など多面的機能があるが飲食できる休憩所がない。

《問題と思われる点》

- 亀崎衣浦大橋から阿久比町に向かう道路沿いではまだまだ空き缶、紙くず、たばこの吸い殻等のポイ捨てが多い。
- ゴミを捨てる人、犬の糞を片付けない人の心に届いていない。
- 亀崎地区（立川美術館）や戦跡関係の保護には、民間有志に任せるのみでなく、計画的な補助支援を望む。
- J R 亀崎駅及び乙川駅付近の整備も必要である。利用客が増えているので、車が入りやすいようにしたり、自転車置き場を新設したりする必要がある。

《提案》

- 他の市町の大きな公園には必ずと言っていいほど売店があるので、雁宿公園にも売店があると良い。

柱5 みんなで環境を守り育てるまち

5-1 環境学習の推進

- 5-1-1 あらゆる世代への環境学習を支援します。
- 5-1-2 地域と学校が連携した環境学習を推進します。
- 5-1-3 環境学習指導者や地域での環境活動の担い手となる指導者を養成します。

5-2 市民・事業者・行政による良好なパートナーシップの形成

- 5-2-1 地域・事業者・行政など各主体間の連携を図ります。
- 5-2-2 各主体間における環境情報の共有及び活性化を図ります。
- 5-2-3 環境NPOや環境保全団体等の育成及び活動を支援します。

庁内評価（成果指標達成度数）				庁内評価 対象事業数
 AA	 A	 B	 C	
2	1 2	3	0	1 7

はんだ環境パートナーシップ会議委員評価				市民評価
 AA	 A	 B	 C	
0	5	5	1	 A

《評価できる点》

- 環境学習は、将来の環境保全に、極めて重要である。その観点から、地道に展開していることは評価できる。
- 稲作体験を実施し環境学習を推進している点。
- 環境保全ポスターコンクールは環境に関心を持つきっかけになり評価できる。

《期待したい点》

- 環境学習を目的としたクラブ活動はもとより、目的が環境学習ではなくても、環境学習を取り入れた活動をしている他のクラブ活動への支援を広げてほしい。
- 体験農業等をもっと多くの人が体験できるようになれば良いと思う。
- 環境保全ポスターコンクールの作品掲示は最優秀賞、優秀賞だけでなく佳作も掲示して欲しい。賞に選ばれなくてもすばらしい作品が多いので佳作も掲示して欲しい。

《評価できない点》

- 環境学習イベント参加者、アダプトプログラム登録者数が前年を下回った点。
- 企業支援による環境学習ができていない。
- 環境パートナーシップ会議推進部会の開催が1回だけで、活気がない。
- 環境保全団体の高齢化。

《問題と思われる点》

- 学校環境マネジメントシステム（E M S）が未実施だが、各学校で先生と生徒が考えていくのはとてもハードルが高いと思う。
- 環境パートナーシップ会議推進部会の発足時はとても活発な意見交換が行われていたが、ほとんど廃用状態。今後は継続する必要があるのか疑問に思う。
- 環境保全団体の育成を考えていく必要がある。若い世代が魅力を感じる活動の創造と支援等。

《提案》

- 企業支援による環境学習について、商工会議所とタイアップし、教育委員会と一緒に新しい仕組みを考えること。市内企業のP R、市内企業への就職にもつながる。

はんだ環境パートナーシップ会議委員名簿

令和元年 9月 1日現在

	氏 名	所 属
1	千 頭 聡	日本福祉大学国際福祉開発学部教授
2	藤 田 純 代	半田市小中学校校長会 板山小学校校長
3	平 林 明 美	半田商工会議所 人財育成委員会委員
4	成 田 辰 也	株式会社SUBARU 航空宇宙カンパニー 半田工場 総務部（総務人事）
5	船 橋 正 巳	半田市区長連絡協議会理事 亀崎6区長
6	和喜田 恵 介	認定NPO法人 中部リサイクル運動市民の会 副代表理事・事務局長
7	石 川 由 弘	愛知県地球温暖化防止活動推進員
8	桑 田 八重子	みずほ環境保護クラブ代表
9	牧 野 純 子	半田こどもエコクラブサポーター
10	神 戸 繁 明	公募委員
11	近 藤 倉 治	公募委員
12	榊 原 正 躬	公募委員
13	澤 田 和 孝	愛知県知多県民事務所 環境保全課課長補佐

庁内評価

1. ひとにやさしく、快適な環境で安心して暮らせるまち

■施策の進捗を見る指標・目標

担当課	指標名		過去の推移										延長分		R2延長分 目標値	指標の推移 (分析)	
			前期分					後期分					基準値：(H29)				
			H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2			
環境課	大気汚染に係る環境基準達成率(%)	二酸化硫黄	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100		100	測定地点：雁宿小学校にて測定。 年間を通し基準値以下である。	
		前期分 基準値：100 (H19) 目標値：100					後期分 基準値：100 (H24) 目標値：100			成果指標 達成度		😊 A A					
		二酸化窒素	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100		100		測定地点：雁宿小学校にて測定。 年間を通し基準値以下である。
		前期分 基準値：100 (H19) 目標値：100					後期分 基準値：100 (H24) 目標値：100			成果指標 達成度		😊 A A					
環境課	大気汚染に係る環境基準達成率(%)	浮遊粒子状物質	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100		100	測定地点：雁宿小学校にて測定。 年間を通し基準値以下である。	
		前期分 基準値：75 (H19) 目標値：100					後期分 基準値：100 (H24) 目標値：100			成果指標 達成度		😊 A A					
		ダイオキシン類	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100		100		測定地点：雁宿小学校にて測定。 年間を通し基準値以下である。
		前期分 基準値：100 (H19) 目標値：100					後期分 基準値：100 (H24) 目標値：100			成果指標 達成度		😊 A A					
環境課	河川のBOD濃度(mg/L) ※神戸川と十カ川は、H29の値が、目標を満たしているため、基準値は目標値とする。	神戸川	7.9	10.4	7.0	8.8	6.8	7.0	6.0	4.8	4.7	5.4	4.8		5.0	3か所で測定を行い、平均値を算出しているが、下流では潮位の影響を受けていたことから、H28より下流の測定地点を100mほど上流に変更した。その結果、潮汐の影響が減り、数値が小さくなった。今後も引き続き測定を行い、経過を監視していく。	
		前期分 基準値：7.6 (H19) 目標値：6.3					後期分 基準値：8.8 (H24) 目標値：5.0			成果指標 達成度		😊 A A					
		矢勝川	6.7	8.1	8.7	8.2	9.2	13.6	9.6	10.9	10.9	10.5	9.6		5.0	H26年以降、水質が悪化している。H31年に河川底質中の調査を行ったが、底質に有機物の堆積を確認することはできなかった。また、測定地点の上流から既にBODは高い数値を示していることから、R2年に上流での水質測定地点を増やし、原因究明に努めていく。	
		前期分 基準値：6.8 (H19) 目標値：5.9					後期分 基準値：8.2 (H24) 目標値：5.0			成果指標 達成度		😐 B					
		阿久比川	2.6	4.6	2.4	2.0	2.3	2.7	2.3	2.3	3.6	2.5	2.3		2.5	過去の数値と比較しても、水質悪化は認められず、良好な水質が保たれていることがわかる。引き続き監視を行い、有事の際に対応できるように努めていく。	
		前期分 基準値：2.5 (H19) 目標値：2.5					後期分 基準値：2.5 (H19) 目標値：2.5			成果指標 達成度		😊 A A					
十カ川	2.2	4.2	1.9	1.9	2.1	2.5	1.8	2.0	1.9	1.6	1.8		2.0	過去の数値と比較しても、水質悪化は認められず、良好な水質が保たれていることがわかる。引き続き監視を行い、有事の際に対応できるように努めていく。			
前期分 基準値：2.0 (H19) 目標値：2.0					後期分 基準値：2.0 (H19) 目標値：2.0			成果指標 達成度		😊 A A							
稗田川	9.7	11.3	8.7	9.7	7.5	7.7	6.3	5.5	5.7	5.1	5.5		5.0	H27年以降、環境の改善傾向が見られるが、改善理由については、上流のため池でかいどりを行っていたりするが、直接的な関係は不明である。今後も引き続き水質の監視を行い、経年変化を確認していく。			
前期分 基準値：11.1 (H19) 目標値：8.1					後期分 基準値：9.7 (H24) 目標値：5.0			成果指標 達成度		😐 B							
下水道課	公共下水道(%)	人口普及率	81.4	82.4	83.4	84.2	86.6	86.6	88.5	89.0	89.0	89.0	89.1		89.1	変更された計画に対して、順調に推移している。	
		前期分 基準値：75.7 (H19) 目標値：88.5					後期分 基準値：84.2 (H24) 目標値：91.0			成果指標 達成度		😊 A A					
下水道課		整備率(市街化区域内)	79.8	80.9	82.0	82.9	84.1	85.0	86.9	87.6	96.1	96.1	96.1		96.5	整備年度の見直しにより、完了年度が伸びたが、変更された計画に対しては順調に推移している。	
環境課		アンケート	—	—	—	—	51.2	—	—	—	—	—	61.0		80.0	悪臭の定義が定まっておらず、畜産由来か工場由来か自動車由来かを特定することが困難である。 そのため、令和元年度に実施した意識調査で、項目を分けて調査を実施した。	

■実績報告書 主体別取組別自己評価

達成度	マーク	施策別評価数			説明(具体的な指標・目標が無い場合)
		1-1	1-2	—	
A A	😊	1	0	—	目標値を達成しているもの(計画を上回る)
A	😄	7	5	—	基準値から、目標値まで直線をひいたときに、最新値が直線よりも上方(達成方向)であるもの(計画どおり)
B	😐	3	1	—	基準値から、目標値まで直線をひいたときに、最新値が直線よりも下方(未達成方向)であるものの、基準値からは向上、改善しているもの(計画を下回る)
C	😞	0	1	—	最新値が、基準値よりも下方しているもの(未着手)

庁内評価

2. 地球環境を守り、持続可能な社会を目指すまち

■施策の進捗を見る指標・目標

担当課	指標名		過去の推移										延長分 基準値：(H29)		R2 延長分 目標値	指標の推移 (分析)	
			前期分					後期分					R 1	R 2			
			H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0					
環境課	1世帯 当たり 年間 使用量	電気 (k W h)	5,477	5,816	5,526	5,436	5,392	5,061	4,752	—	4,904	4,736	4,610		5,000	目標を大きく上回る減少となった。	
		前期分 基準値：5,780 (H19) 目標値：5,500	後期分 基準値：5,436 (H24) 目標値：5,200					成果指標 達成度	😊 C								
	※電気は、 H29の値が 目標を満た しているた め、基準値 は目標値と する。	都市ガス (㎡)	390 (H 1 9)	395 (H 2 0)	397 (H 2 1)	405 (H 2 2)	409 (H 2 3)	409 (H 2 4)	395 (H 2 5)	392 (H 2 6)	377 (H 2 7)	— (H 2 8)	— (H 2 9)		360	※愛知県統計年鑑から算出	
		前期分 基準値：408 (H19) 目標値：390	後期分 基準値：409 (H23) 目標値：390					成果指標 達成度									
	環境配慮 型住宅用 設備の導 入件数 (累計 数)	太陽光発電 システム	462	737	1,086	1,428	1,928	2,386	2,798	3,117	3,412	3,719	3,961		4,000	※中部電力が市内で契約している実績（自家消費分・他社売電は含まない） 増加傾向にあるものの、自家消費及び他社への売電もあると思われるため、参考数値として扱う。	
		高効率 給湯器	2,873	3,566	4,249	5,071	5,800	6,164	6,828	7,452	8,134	8,810	9,428		10,100	引き続き目標通り順調に推移している	
ク リ ー ン セ ン タ ー	家庭部門 C O 2 年間排出量 (千トンC O 2)		-	-	170 (H 2 1)	180 (H 2 2)	190 (H 2 3)	198 (H 2 4)	178 (H 2 5)	175 (H 2 6)	155 (H 2 7)	154 (H 2 8)	159 (H 2 9)		153	2018年度の総合エネルギー統計及び都道府県別エネルギー消費統計の改訂・更新に伴い、遡り修正あり。環境省の示す「都道府県の炭素排出量を按分する方法」を活用している。実績値とは異なり、参考値として扱う。	
	市民 1 人 1 日当 たりの ごみ排出量 (g / 人・ 日)	総ごみ量	1,033	1,010	996	992	984	955	951	947	929	919	936		846	令和元年度は、GWの10連休期間中にゴミが多く搬入されたことや、3月には新型コロナウイルスによる外出自粛の影響で、家庭系ゴミが急激に増加したことにより、前年度より家庭系ゴミが増加した。引き続き積極的にごみ減量と資源化を推進する必要がある。	
		生活系 ごみ量	-	-	-	599	594	585	578	582	575	577	578		510		
	リサイクル率 (%)		19.2	19.1	24.9	24.1	24.1	23.6	23.6	22.8	22.4	20.8	22.7		27.4	令和元年10月から公共資源回収ステーション及び刈草・剪定枝の資源化を始めた。今後もしサイクルを推進していく。	
		前期分 基準値：20.3 (H19) 目標値：24.0	後期分 基準値：24.1 (H24) 目標値：30.0					成果指標 達成度	😐 B								
	環境課	エコ事業所登録数 (累計数)	-	-	-	89	141	170	171	170	171	172	173		300	エコ事業所の登録にメリットがなく、H P 等を活用し企業名を公表しているが、過去 5 年程度加入企業はほぼいない。	
エコファミリー登録世帯数 (累計数)		-	-	-	515	1,216	1,522	1,802	1,820	1,824	1,839	1,846		2,500	環境課開催するイベント等での広報活動を行っているが、過去 5 年程度低い推移となっている。		

■実績報告書 主体別取組別自己評価

達成度	マーク	施策別評価数			説明（具体的な指標・目標が無い場合）
		2-1	2-2	2-3	
A A	😊	3	0	0	目標値を達成しているもの（計画を上回る）
A	😊	7	7	1	基準値から、目標値まで直線をひいたときに、最新値が直線よりも上方（達成方向）であるもの（計画どおり）
B	😞	5	7	5	基準値から、目標値まで直線をひいたときに、最新値が直線よりも下方（未達成方向）であるものの、基準値からは向上、改善しているもの（計画を下回る）
C	😞	0	0	0	最新値が、基準値よりも下方しているもの（未着手）

庁内評価 3. 豊かな自然を守り、自然と共生するまち

■施策の進捗を見る指標・目標

担当課	指標名	過去の推移										延長分 基準値：(H29)		R2 延長分 目標値	指標の推移 (分析)
		前期分					後期分								
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		
都市計画課	1人当たりの 公園・緑地面積 (㎡/人)	5.8	5.8	6.2	6.2	6.2	7.1	7.1	7.4	8.1	8.1	8.5		8.5	任坊山公園等、地域に必要な公園の整備を進めたことにより、目標値である市民一人当たりの公園・緑地面積を達成できた。
		前期分 基準値：5.8 (H19) 目標値：6.0					後期分 基準値：6.2 (H24) 目標値：7.0			成果指標 達成度	😊 A A				
経済課	耕作放棄地の面積 (ha)	45.3	36.3	33.6	29.3	27.4	28.4	33.0	34.5	35.2	33.8	33.4		20.0	農家の高齢化や離農が進み、増加傾向にあるが、農地パトロールや利用状況調査等により、放棄地になる前に意欲ある担い手に農地をつなぐことで、現状を維持している。
		前期分 基準値：61.0 (H19) 目標値：61.0					後期分 基準値：29.3 (H24) 目標値：25.0			成果指標 達成度	😐 B				
	市民農園の面積 (㎡)	11,384	19,796	24,863	26,297	27,757	27,757	27,757	27,757	27,757	27,757	27,757		27,757	耕作放棄地を活用し、市民農園を整備することで、緑地の確保を図り、農業の大切さ、地産地消を推進することができた。
		前期分 基準値：9,550 (H19) 目標値：12,000					後期分 基準値：26,297 (H24) 目標値：26,297			成果指標 達成度	😊 A A				

■実績報告書 主体別取組別自己評価

達成度	マーク	施策別評価数			説明（具体的な指標・目標が無い場合）
		3-1	3-2	3-3	
A A	😊	0	4	2	目標値を達成しているもの（計画を上回る）
A	😄	5	2	5	基準値から、目標値まで直線をひいたときに、最新値が直線よりも上方（達成方向）であるもの（計画どおり）
B	😐	0	3	1	基準値から、目標値まで直線をひいたときに、最新値が直線よりも下方（未達成方向）であるものの、基準値からは向上、改善しているもの（計画を下回る）
C	😞	0	0	0	最新値が、基準値よりも下方しているもの（未着手）

庁内評価 4. 美しいふるさとと、歴史や文化を大切にするまち

■施策の進捗を見る指標・目標

担 当 課	指標名		過去の推移										延長分		R2 延長分 目標値	指標の推移 (分析)
			前期分					後期分					基準値：(H29)			
			H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		
都 市 計 画 課	まち並みがよく調和していると 思う市民の割合（％）	アンケート	—	—	—	—	41.1	—	—	—	—	—	68.1		50.0	景観条例に基づく対象行為に対する景観アドバイザーのアドバイスを行うことにより、良好な景観形成を図るとともに、景観出前講座や風景絵画＆フォトコンテストを通して、景観に対する意識の向上を
			前期分 基準値：31.7（H18） 目標値：40.0					後期分 基準値：41.1（H24） 目標値：50.0					成果指標 達成度	😊 A A		
	1人当たりの公園・緑地面積 （㎡/人）	5.8	5.8	6.2	6.2	6.2	7.1	7.1	7.4	8.1	8.1	8.5		8.5	任坊山公園等、地域に必要な公園の整備を進めたことにより、目標値である市民一人当たりの公園・緑地面積を達成できた。	
		前期分 基準値：5.8（H19） 目標値：6.0					後期分 基準値：6.2（H24） 目標値：7.0					成果指標 達成度	😊 A A			

■実績報告書 主体別取組別自己評価

達成度	マーク	施策別評価数			説明（具体的な指標・目標が無い場合）
		4-1	4-2	4-3	
A A	😊	0	0	0	目標値を達成しているもの（計画を上回る）
A	😄	4	2	3	基準値から、目標値まで直線をひいたときに、最新値が直線よりも上方（達成方向）であるもの（計画どおり）
B	😐	0	0	0	基準値から、目標値まで直線をひいたときに、最新値が直線よりも下方（未達成方向）であるものの、基準値からは向上、改善しているもの（計画を下回る）
C	😞	0	0	0	最新値が、基準値よりも下方しているもの（未着手）

庁内評価

5. みんなで環境を守り育てるまち

■施策の進捗を見る指標・目標

担当課	指標名		過去の推移										延長分		R2 延長分 目標値	指標の推移 (分析)	
			前期分					後期分					基準値：(H29)				
			H2 1	H2 2	H2 3	H2 4	H2 5	H2 6	H2 7	H2 8	H2 9	H3 0	R 1	R 2			
環境課	環境学習イベントの 参加人数（人）		239	—	—	538	767	879	1,194	1,065	796	1,509	1,185		1,500	担当者に左右されるため、安定した参加者の 確保が出来ていない。	
			前期分指標なし 後期分から					後期分 基準値：538（H24） 目標値：600					成果指標 達成度	😐 B			
市民協働課	アダプト プログラ ム	登録者数 （人）	8,000	7,286	7,291	7,383	8,057	8,106	9,563	8,993	9,064	9,170	7,077		9,400	近年、少しずつ登録者数が増加していたが、約 2,000人で登録のあった団体の脱退により大き く登録者数が減少してしまった。	
			前期分 基準値：8,022（H19） 目標値：8,800					後期分 基準値：7,383（H24） 目標値：8,500					成果指標 達成度	😞 C			
		登録団体 （団体）	172	166	169	181	168	172	156	168	172	178	182		250	活動者の高齢化にともない、登録を辞退する団 体も少なくないが、全体として少しずつ増加し ている。	
			前期分 基準値：147（H19） 目標値：200					後期分 基準値：181（H24） 目標値：250					成果指標 達成度	😐 B			
環境課	環境保全 活動に 参加した ことがあ る割合 （％）	市民 アンケー ト	—	—	—	—	13.3	38.9	—	47.0	—	43.0	58.4		50.0	環境保全活動の定義が定まったおらず、結果 にムラがある。	
			前期分 基準値：16.6（H18） 目標値：28.0					後期分 基準値：13.3（H25） 目標値：40.0					成果指標 達成度	😄 A A			
		事業者 アンケー ト	—	—	—	—	33.9	—	—	—	—	—	—	63.2		50.0	上記同様
			前期分 基準値：27.0（H18） 目標値：40.0					後期分 基準値：33.9（H25） 目標値：50.0					成果指標 達成度	😄 A A			

■実績報告書 主体別取組別自己評価

達成度	マーク	施策別評価数			説明 (具体的な指標・目標が無い場合)
		5-1	5-2	—	
A A		1	1	—	目標値を達成しているもの (計画を上回る)
A		7	5	—	基準値から、目標値まで直線をひいたときに、最新値が直線よりも上方 (達成方向) であるもの (計画どおり)
B		3	0	—	基準値から、目標値まで直線をひいたときに、最新値が直線よりも下方 (未達成方向) であるものの、基準値からは向上、改善しているもの (計画を下回る)
C		0	0	—	最新値が、基準値よりも下方しているもの (未着手)